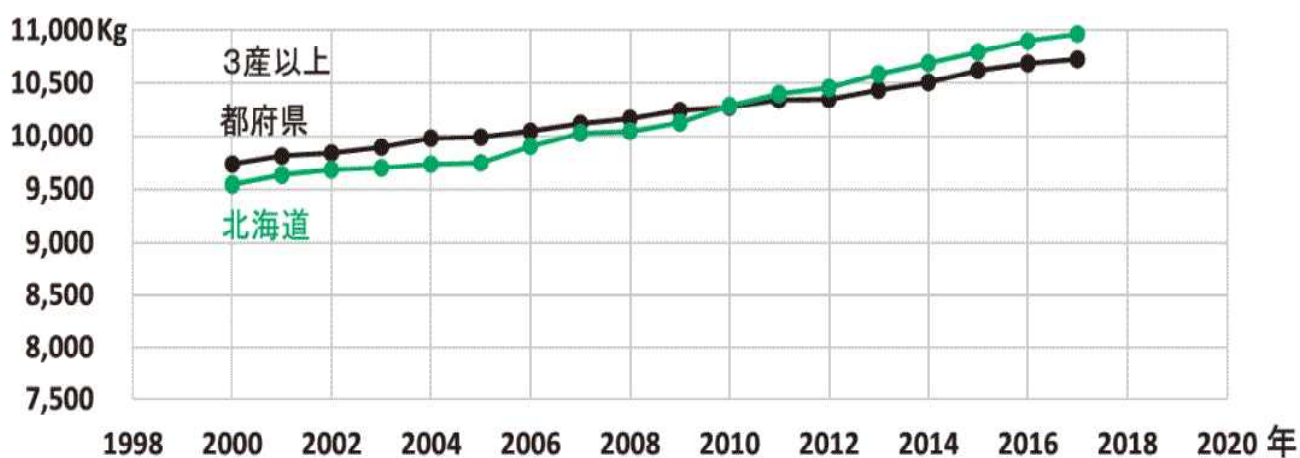
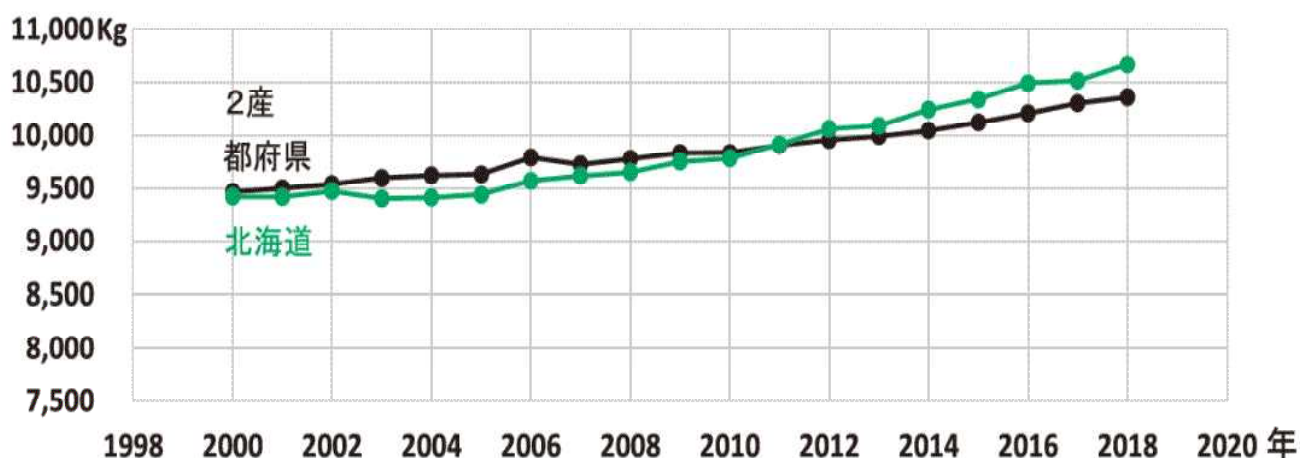
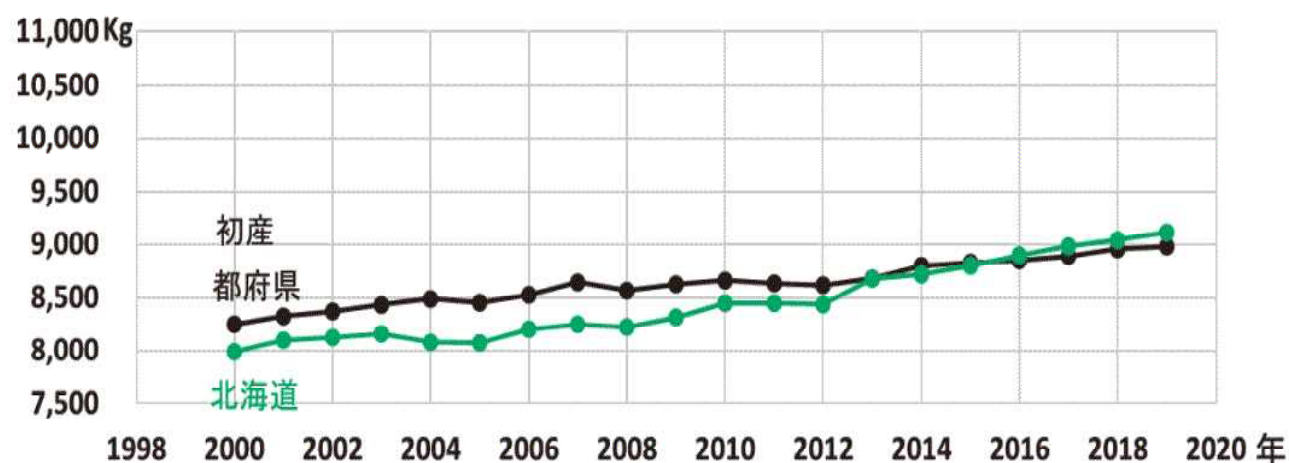


牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 デーリィマン 1月号 デーリィマン社
牛群検定の読み方(その28)
受胎しない牛の比率を確認できる「搾乳牛率」
- 2 L I A J ニュース 11月号 (一社)家畜改良事業団
牛群検定ビッグデータ(その36)
新しいNTPについて 新旧NTPの比較

産次別の乳量の推移

左図は産次別乳量の生年での推移を都府県と北海道で対比したものです。近年では、2産3産以上の乳量が北海道で都府県より大きく増えていることが分かります。



～～ 冬季の成績表 ～～

ホルスタインは寒さに強いと言われています。しかし、それでも冬季にはトラブルが発生しやすくなります。いろいろなトラブルが検定成績で、どういった表示がされるか紹介したいと思います。

1) 図1は、検定成績表の2枚目です。乳量の欄に矢印①のように▽▼マークがタテに沢山並んでいませんか？

Yes No

→Yes 冬から春にかけては、乳量をもっとも伸びる時期です。この時期に一斉乳量減少は最も避けなければならない大きなトラブルです。

2) 図2は、検定成績表の1枚目中央です。体細胞数情報において矢印②のように冬季の体細胞数が高くありませんか？

Yes No

→Yes 一般に冬季の体細胞数は低くなります。もし、逆に高くなるようでしたら、何らかのトラブルです。

図1

牛 コード	乳 量 (kg)					
	今 月			標準 乳 量	前月	前々月
	1回	2回	合計			
0121	9.0	12.0	21.0	24.4	23.0	23.2
0017	17.2	10.4	▼27.6	34.6	34.6	37.8
0063	12.4	8.4	▼20.8	3	24.2	▼25.6
0120	6.0	8.0	▼14.0	15.8	26.6	24.0
0106	11.0	13.6	24.6	27.9	▼24.0	28.0
0003	14.0	15.0	▼29.0	32.9	35.0	▼37.4
0119	15.0	9.6	▼24.6	30.3	30.8	31.4
0118	14.0	10.0	▼24.0	29.6	31.0	30.0
0093	10.0	18.0	28.0	35.2	22.6	23.0
0074	8.0	8.0	▼16.0	22.7	▼20.0	22.4
0031	14.6	13.4	▼28.0	36.7	36.0	39.2
0098	13.0	12.8	25.8	36.2	26.8	29.0

全頭一斉に乳量が下がった場合は、まずは搾乳機器を点検して下さい。冬は機械に不具合が発生しやすく、真空圧の確認が必要です。飲水も確認しましょう。水道管の凍結も要注意です。

飼料も水分が多いとシャーベット状になり、冷たい水と重なり下痢や栄養不足の原因となります。また、図2のような冬季の乳房炎が蔓延しても一斉に乳量を落とす原因となります。

冬季は乾燥しやすいことから寒さに強い乳牛でも、感冒（風邪）が牛舎内で流行することがあります。この場合は、子牛に感染すると肺炎を起こします。早めに獣医師に相談してください。

図2

移動 13ヵ月 成績	体 細 胞 情 報									
	体細胞数 平均	搾乳牛頭数比率						乳量 損失率	損失 乳代 (月当り)	
		70 以下	71~ 282	283 以上	千/ml 新規 頭数					
検定年月日	千/ml	%	%	%	%	%	%	%	千円	
24.10.26	146 (3.0)	36	51	13	6	5	2	157		
24.11.22	181 (3.2)	32	47	21	12	11	2	166		
24.12.21	165 (3.1)	35	50	15	9	8	2	154		
25.01.24	301 (3.4)	29	47	24	11	9	2	161		
25.02.22	426 (3.9)	25	41	34	8	12	2	274		
25.03.26	423 (3.4)	25	49	36	5	9	2	216		
25.04.24	189 (3.1)	31	53	16	6	6	2	154		
25.05.28	176 (3.1)	38	46	16	7	7	2	145		
25.06.18	149 (3.0)	40	42	18	7	6	2	122		
25.07.24	229 (3.3)	34	43	24	11	9	2	143		
25.08.26	217 (3.2)	31	53	16	4	3	2	161		
25.09.24	238 (3.2)	36	45	19	8	7	2	172		
25.10.23	238 (3.1)	38	46	15	6	6	2	195		
平均・計	203 (3.2)	33	49	18	8	7	2	1894		
前年成績	211 (3.1)	37	47	16	6	5	2	1677		

乳頭が、ヒビやアカギレで荒れていませんか？搾乳時に乳頭をチェックして下さい。乾燥した冷たい寒風が、乳頭に直に当たらないようにしましょう。やや高価ですが保湿剤入りディッピング剤も販売されています。

